



「たくさんの友だちと楽しくなかよくね！」
 河原保育所新園舎ではじめての入所式



3月定例会

219億5千万円の予算可決

北部保育所整備など子育て支援拡充

平成22年第1回定例会は、2月22日に開会し、37日間の会期で3月30日に閉会しました。初日には、閉会中の継続審査となっていた市民からの請願を不採択とし、議員提案の発議を否決しました。また、市長から22年度の施政方針演説が行われた後、条例案や当初予算案などが提案され、常任委員会や特別委員会に付託、審査することとし、人事案1件は、同意しました。また、施政方針演説をつけ、6会派が代表質問を行い、市政運営について10人の議員が一般質問を行いました。最終日には、付託していた市長提案案件と、同日追加提案された京田辺市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正案を可決しました。また、議員から提出された意見書案4件をすべて可決しました。

請願を不採択 条例案も否決

12月定例会の最終日に市民から提出された「教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願」と、議員から提案された「都市計画税条例の一部改正」は、所管の常任委員会にそれぞれ付託し、閉会中に審査を行いました。

(4面に掲載)

定例会初日には、先の請願について、文教福祉常任委員長から審査結果の報告を受けました。討論では、日本共産党京田辺市議会議員団が賛成討論を行いました。採決の結果、不採択としました。

また、条例案については、総務常任委員長から審査結果の報告を受けました。討論では、日本共産党京田辺市議会議員団が賛成討論を、また緑政会が反対討論を行いました。採決の結果、否決しました。

条例予算など 31議案を審議

市長から、「情報公開条例の一部改正」や「子

育て支援医療費の助成に関する条例の一部改正」など7件の条例案と、地域防災無線のデジタル化契約に係る財産取得の変更や道路線の認定、城南市町村税滞納整理組合歳入歳出決算認定など5件が提案され、所管の常任委員会に付託し、審査を行いました。

(4面に掲載)

総額219億5000万円の22年度一般会計、8特別会計及び水道事業会計の当初予算案10件と21年度一般会計など8件の補正予算案が提案され、予算特別委員会を設置し、付託の上、審査を行いました。

予算の重点的な内容は、まちの未来を託す子どもを育て支援と、未来への発展につながる都市基盤・産業基盤整備などの地域づくりを推進するものとされ、①バス交通網の充実や通学路等の安全対策といった安心・安全に関する施策、②子育て支援医療の拡充や北部地域における民間保育所の整備などの充実、③企業立地促進や緊急経済対策など産業の活性化策などです。

(8面、9面に掲載)

公平委員会
委員を再任

22年3月13日付で任期満了となる公平委員会委員には、米田泰子さん(66)と大住大坪の再任に同意しました。

6会派から 代表質問

2日目は市長の施政方針演説をうけて、6会派が代表質問を行いました。(2、3面に掲載)
 3日目から5日目には、10人の議員が登壇し、一般質問を行いました。(6、8面に掲載)

市長提出議案 すべて可決

最終日には、常任委員会に付託していた議案の審査結果に対し、各委員から報告を受けました。討論では、「特殊勤務手当に関する条例の一部改正」に対し、日本共産党京田辺市議会議員団と無党派議員が反対討論を行いました。採決の結果、すべて原案のとおり可決しました。

4意見書可決 関係行政庁へ

議員からは、4件の意見書案が提出され、「茶業振興に関する意見書」は賛成全員で可決し、「恒久平和実現のため核兵器の廃絶に関する意見書」など3件を賛成多数で可決しました。

これらの意見書は、関係行政庁に送付しました。(5面に掲載)

紙面のご案内

- 2面 代表質問
- 3面 代表質問、施政方針
- 4面 常任委員会の審査報告
- 5面 所管事務調査、意見書、研修報告、用語の解説
- 6面 一般質問、議会日誌
- 7面 一般質問
- 8面 一般質問、一般会計予算
- 9面 予算特別委員会の審査
- 10面 シーズンスケッチ、傍聴アンケート、新会派構成、議決結果、議会改革・活性化特別委員会中間報告、あとかぎなど